



報道発表

平成 27 年 3 月 4 日
東 京 税 関

輸入差止件数は 3 年連続で 1 万件を超える

～平成 26 年の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況～

東京税関における平成 26 年の偽ブランド品等の知的財産侵害物品の差止状況は、次のとおりです。

1. 輸入差止件数は 1 万件超の高水準

- 輸入差止件数は 10,134 件（前年比 6.6% 減）で、3 年連続で 1 万件を突破し、輸入差止点数は 319,963 点（前年比 3.9% 増）でした。
- 1 日平均でみると約 28 件、約 880 点の知的財産侵害物品を差し止めています。

2. 中国からの知的財産侵害物品が 4 年連続 9 割超、一極集中が継続

- 中国からの知的財産侵害物品の輸入差止件数は 9,233 件（前年比 7.2% 減、構成比 91.1%）、差止点数は 268,045 点（前年比 5.5% 増、構成比 83.8%）。中国は件数ベースで平成 19 年以降最大の仕出国となっており、仕出国別の構成比でも平成 23 年以降 4 年連続で 9 割超を占め、中国を仕出しとする貨物への一極集中が続いています。

3. 健康・安全を脅かす知的財産侵害物品の差止めが増加傾向

- 消費者の健康・安全を脅かす知的財産侵害物品（抱っこ紐（ベビーキャリア）、医薬品、運動・健康器具、自動車用部品等）の差止件数が増加傾向にあります。

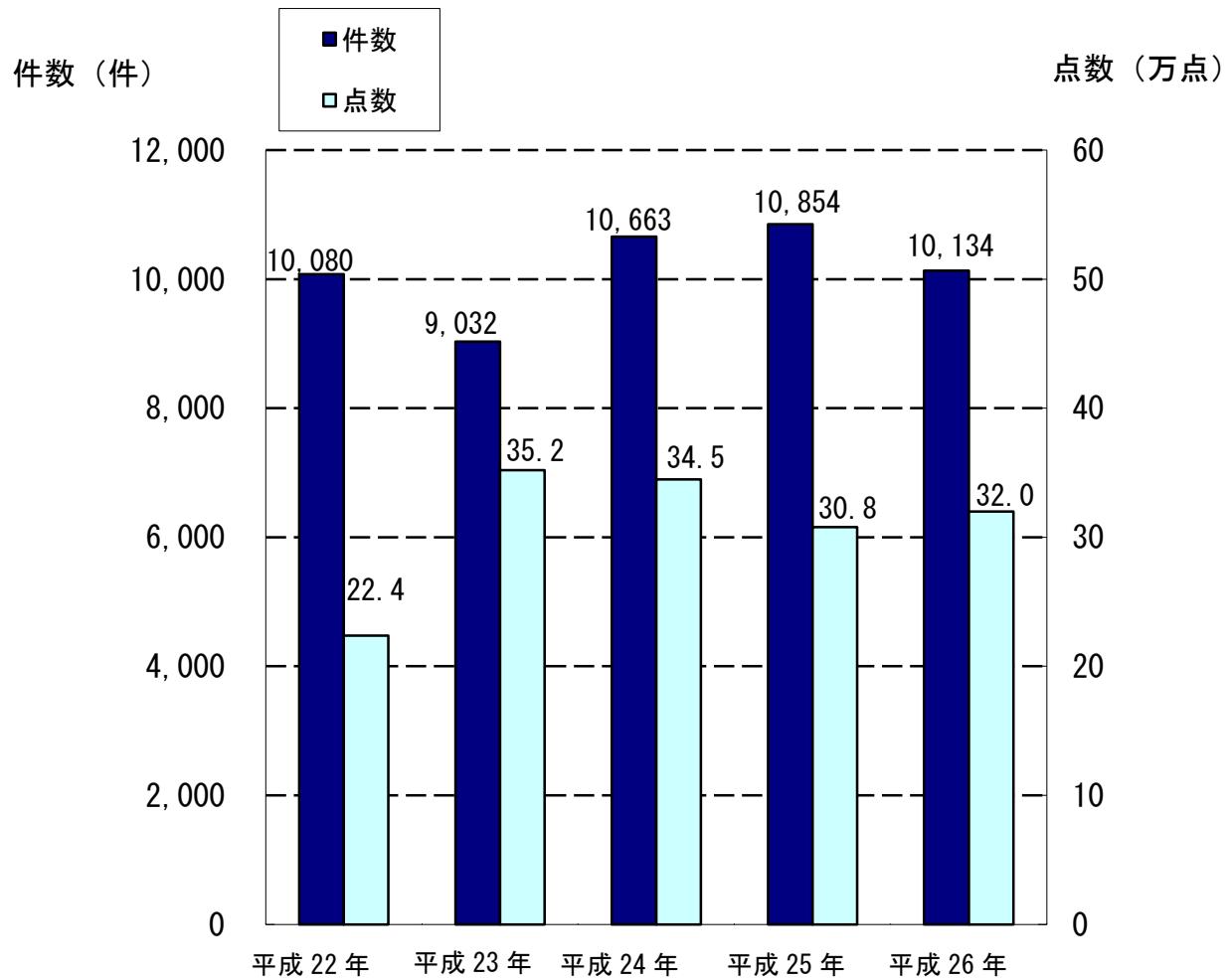
【お問い合わせ先】
東京税関 税関広報広聴室
TEL 03-3599-6264
FAX 03-3599-6442

平成 26 年における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

- 平成 26 年の東京税関における知的財産侵害物品の輸入差止件数は 10,134 件で、前年と比較して 6.6% 減少しました。
- 輸入差止点数は 319,963 点で、前年と比較して 3.9% 増加しました。点数の増加は、中国からの携帯電話及び付属品、身辺細貨類、帽子類等の差止めが増加したことが主な要因です。

(注) 差止件数・差止点数は、税関が差し止めた知的財産侵害物品に係る一般貨物及び郵便物の件数・点数をそれぞれ計上したものです。

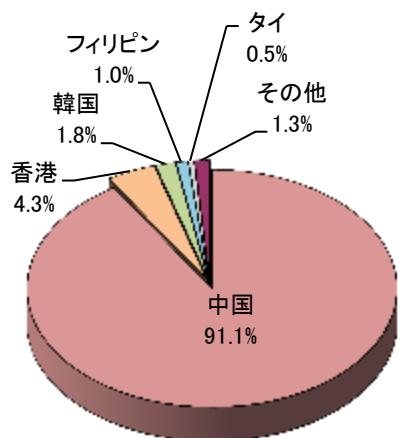
知的財産侵害物品の輸入差止実績（平成22年～平成26年）



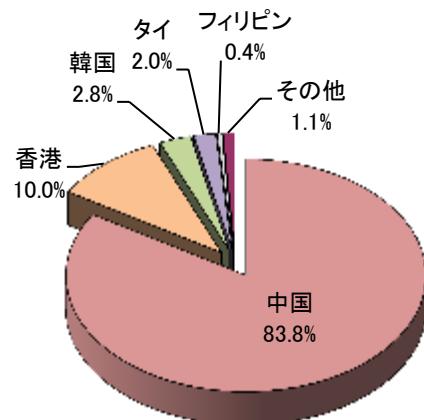
○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国を仕出しどとするものが9,233件（前年比7.2%減、構成比91.1%）、次いで香港が433件（前年比10.9%減、構成比4.3%）、韓国が179件（前年比65.7%増、構成比1.8%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国を仕出しどとするものが268,045点（前年比5.5%増、構成比83.8%）、次いで香港が31,907点（前年比1.7%減、構成比10.0%）、韓国が9,033点（前年比17.0%増、構成比2.8%）となりました。

仕出国（地域）別差止実績
構成比（件数ベース）

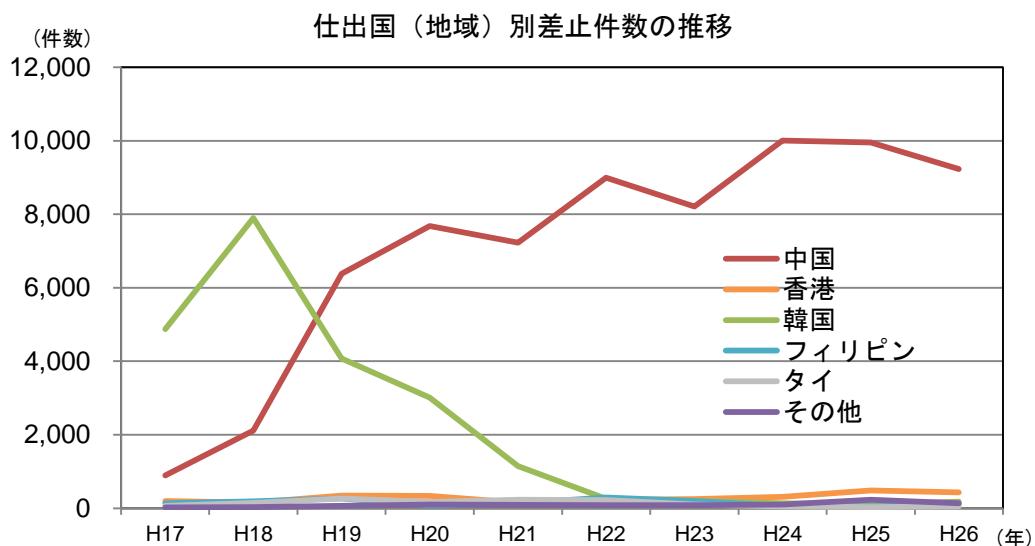


仕出国（地域）別差止実績
構成比（点数ベース）



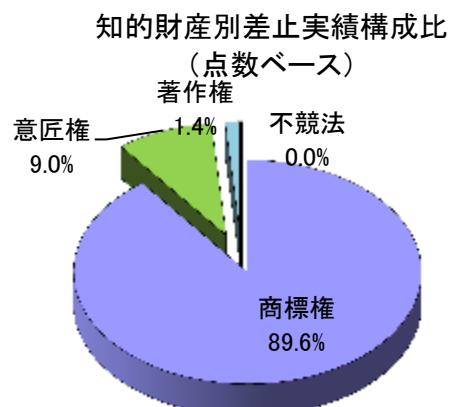
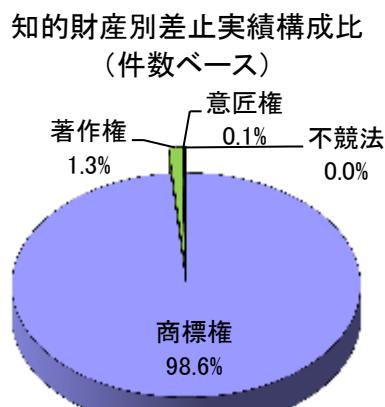
（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。

- 知的財産侵害物品の仕出国については、中国が件数ベースで平成19年以降最大の仕出国となっています。仕出国別の構成比でも平成23年以降4年連続で9割超を占め、中国を仕出しどとする貨物への一極集中が続いています。



○知的財産別輸入差止実績

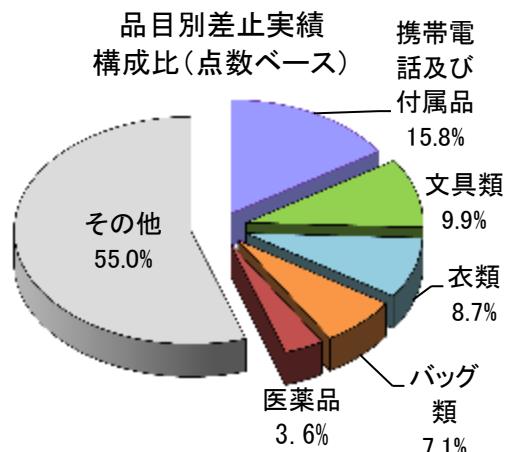
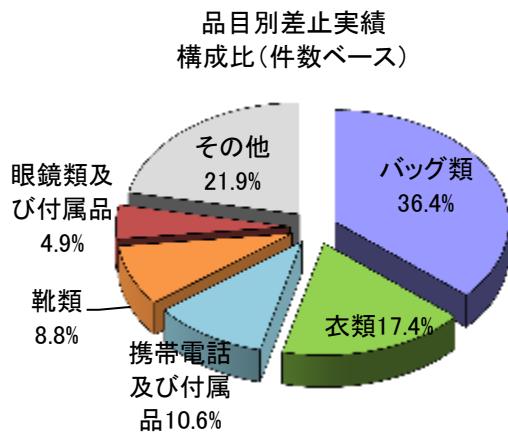
- 輸入差止件数は、例年同様、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が 10,059 件（前年比 6.8% 減、構成比 98.6%）で大半を占めています。次いでキャラクターグッズ等の著作権侵害物品が 128 件（前年比 37.6% 増、構成比 1.3%）、デザインを模倣した意匠権侵害物品が 15 件（前年比 7.1% 増、構成比 0.1%）となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が 286,701 点（前年比 4.6% 減、構成比 89.6%）、次いで意匠権侵害物品が 28,785 点（前年比約 7.3 倍、構成比 9.0%）、著作権侵害物品が 4,411 点（前年比 31.7% 増、構成比 1.4%）となりました。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

○品目別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、バッグ類が 4,195 件（前年比 25.9% 減、構成比 36.4%）、衣類が 2,010 件（前年比 17.4% 減、構成比 17.4%）、スマートフォン用ケース等の携帯電話及び付属品が 1,220 件（前年比 49.9% 増、構成比 10.6%）、靴類が 1,014 件（前年比 52.5% 増、構成比 8.8%）、眼鏡類及び付属品が 565 件（前年比約 2.3 倍、構成比 4.9%）となりました。
- 輸入差止点数は、携帯電話及び付属品が 50,494 点（前年比 18.1% 増、構成比 15.8%）、文具類が 31,598 点（前年比 10.0% 減、構成比 9.9%）、衣類が 27,711 点（前年比 26.8% 減、構成比 8.7%）、バッグ類が 22,587 点（前年比 36.4% 減、構成比 7.1%）、医薬品が 11,599 点（前年比 0.5% 減、構成比 3.6%）となりました。

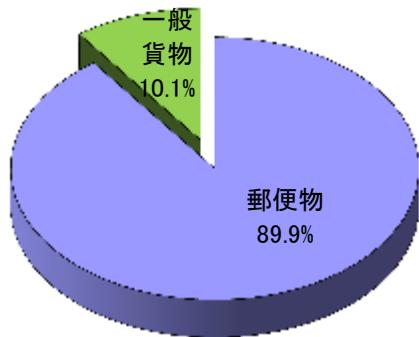


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

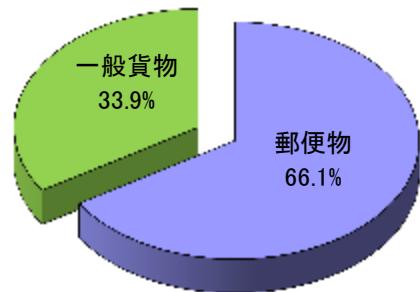
○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、郵便物が大半を占めており、郵便物が 9,110 件（構成比 89.9%）、一般貨物が 1,024 件（構成比 10.1%）となっています。
- 輸入差止点数は、郵便物が 211,465 点（構成比 66.1%）、一般貨物が 108,498 点（構成比 33.9%）となり、件数ベースに比べて一般貨物の割合が多くなっています。

輸送形態別差止実績構成比
(件数ベース)



輸送形態別差止実績構成比
(点数ベース)

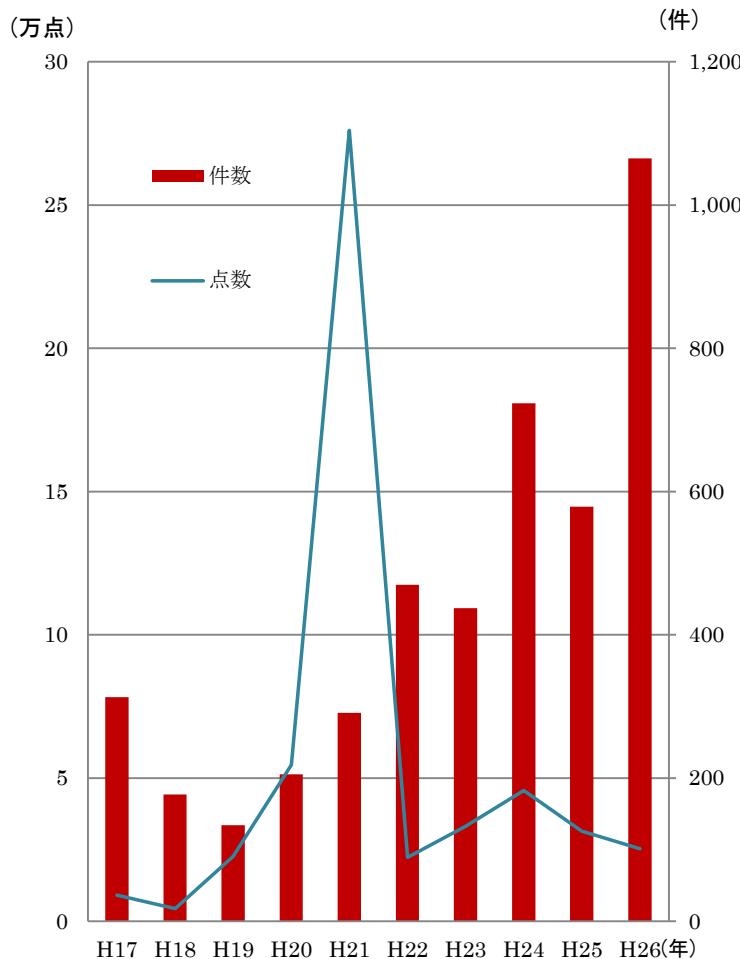


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

(トピックス) 消費者の健康・安全を脅かす知的財産侵害物品の増加

➤ 知的財産侵害物品の中には、消費者の健康・安全を脅かす医薬品、食品、化粧品、電気製品、自動車及び付属品、運動用具、メガネ等があり、近年はその差止件数が増加傾向にあります。

健康・安全を脅かす侵害物品の差止実績の推移



バイク用キャブレター



サングラス



美容用ローラー



トレーニング用具



➤ 健康被害のおそれのある物品

偽医薬品は、不衛生な場所や方法で製造されたものであるおそれがあり、有害な不純物等が含まれている可能性が否定できません。そうした不純物等が健康被害を引き起こす可能性があると指摘されています。



➤ 使用中に事故等を起こす危険性のある物品

商標権を侵害する抱っこ紐（ベビーキャリア）は品質・性能が保証されていないため、強度不足等による乳幼児の落下事故を引き起こす危険性が指摘されています。

